



国際連合大学ゼロエミッションフォーラム(国連大学ZEF)
第7回総会記念講演会
- ポスト京都議定書 -

開催趣旨

21世紀に入ってすでに6年、地球温暖化は科学者の予測通り進行しつつあります。また、世界各地では異常気象が頻発しています。強大なハリケーンや台風、集中豪雨による洪水、地滑り、土壌浸食、砂漠化の進行、水資源問題、旱魃による農作物被害、熱波、熱帯性の疾病地域拡大等々世界的に深刻な被害を与えています。

このような中、ゼロエミッションフォーラムでは、昨年も京都議定書発効記念講演会と銘打って地球温暖化問題を取り上げました。本年も「ポスト京都議定書に向けて」温暖化防止のために積極的な行動を起こす年として位置付け、より厳しさを増す温暖化とその影響の正しい認識と、目標達成のための日本の役割について考えたいと思います。

(参加費：無料 参加希望者は裏面の参加申込書にて事前登録してください)

日時：2006年5月26日(金) 14:20～18:00 (開場:13:50)

場所：UNハウス3階 ウ・タント国際会議場 (定員:300名)

プログラム (講演者名 敬称略)

- 14:20- **開会の辞**
藤村 宏幸(国連大学ZEF会長)
- 14:30- **講演：「地球温暖化の真実」**
住 明正(東京大学気候システム研究センター 教授)
- 15:10- **講演：「進む地球温暖化とその影響」**
原沢 英夫(国立環境研究所 社会環境システム研究領域長)
- 15:50- **休憩**
- 16:10- **講演：「脱温暖化シナリオ」**
槌屋 治紀(株式会社システム技術研究所 所長)
- 16:50- **講演：「日本は約束を守るか？ - 排出権取引が温暖化対策の決め手」**
安本 皓信(電源開発株式会社 常務取締役)
- 17:30- **まとめ：「ポスト京都議定書と日本の役割」**
三橋 規宏(国連大学ZEF自治体NW代表、千葉商科大学政策情報学部 教授)
- 18:00 **終了**

(都合により、プログラム内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。)